



熊本火の国ラウンド

【九州体育・保健体育ネットワーク研究会-R1.11.30(土) 熊本市立白山小学校】

今年の「九州体育・保健体育ネットワーク研究会熊本火の国ラウンド」は、11月30日に、佐藤先生を始め、県外2名、県内19名、合計21名で校種や立場を超えての研究会でした！

1 ワークショップ：「新学習指導要領の趣旨を踏まえた体育・保健体育の授業づくりの課題について」

事前に本県事務局と桐蔭横浜大学佐藤豊先生で検討し、上記のテーマについて本県の現場各校種の先生方、行政、大学関係者等からの課題を集約し、ワークショップ形式で深めていくこととした。また、今回は、一人1台タブレット端末を用意し、学習支援ソフト「ロイロノート」を活用し、個人の意見(シート)をディスプレイに集約し、それをもとに、佐藤先生が各シートを見て取り上げて話題にしたり、その意見を基に全体で意見交換したりする方式をとった。課題として出された内容は以下の通り。

【県中体研理事長より】

- ① 評価の仕方や考え方(技能・知識の部分)
- ② 現場の授業づくり・・・若手は知識経験が乏しい、ベテランは経験のみの授業になっている現状がある。
- ③ 授業に本気で向き合う体制づくり

【県内学校体育に関わる行政関係者より】

- ① 保健体育担当の指導主事がもっと指導できるような業務改善
- ② 中学校内でのOJTの推進(他教科の教員に学ぶような体制等)

【小学校関係者より】

- ① 知識・理解の指導と評価の具体例(「わかるとできるをつなぐ授業等」)
 - ② 体育における効果的なICT活用
(一部では体育学習の後退要因に⇒運動実施時間の減少、視覚情報への傾倒)
 - ③ 小学校体育専科の可能性(メリットとデメリット等)
 - ④ 体育授業における外部人材(指導者)等の有効活用
(カリキュラム・マネジメント⇒社会に開かれた教育課程、チーム学校等)
- これらの中から、現場の実践者2名の以下の基調提案をもとに2つのテーマでグループワークを行った。

【テーマ1】授業改善に関して

- ・「知識・技能」の指導と評価 ・効果的なICT活用

【テーマ2】体育・保健体育における人材育成と人材活用

- ・研修機会を活用した専門性を高める人材育成(校内及び校外等)
- ・授業及び体育的活動の充実に資する人材活用(小学校体育専科、外部人材等)

テーマ1に関しては、佐藤先生から「保健体育における知識とは」の情報提供をもとに体育学習の「わかる」と「できる」の具体について意見交換がされた。特に、佐藤先生の解説にあった「具体的知識・方法的知識・概念的知識」の整理と活用については現場の先生方は大きく頷いていた。また、ICT活用については、前述のロイロノートを活用した先生と個々の児童の間での「指導と評価が一体となった活用事例」が紹介された。具体的には、全児童の試技映像を教師が集約し、一人一人の動画に朱書きで称賛や助言を記した映像を個々の児童向けに返信し、一人一人がタブレットで確認し次時の学習に臨むというシステムを構築した。児童は試技映像の各局面の成果と課題を確認し、学習意欲と課題解決意欲を高めながら学びを深めていく過程がみとれた。

テーマ2に関しては、初任3年目の先生が「体育科指導力向上の自己研鑽」の履歴を紹介され、それをもとに研修機会や人材育成の在り方について意見交換がなされた。佐藤先生からは、学生の実践的指導力向上に向けた取組例を紹介された。その中には、「授業設計力・授業実践力・省察力」の3つの授業力に関わる要因が示された。特に、来春から初任者となる5人の大学生は熱心にグループワークに参加していた。意見としては、校内及び各研究サークル等の研修機会の情報を収集して自らのネットワークを広げながら研鑽を深める「アクティブラーナー」としての姿勢が大切であることが出された。

2 話題提供：「新学習指導要領における体育科・保健体育科のポイント」

桐蔭横浜大学 佐藤 豊 先生が、改訂された新学習指導要領に関連する内容やICTを活用した部活動支援等についてわかりやすく説明され、実践者にとっては、体育・保健体育の授業及び体育的活動の充実に関する貴重な情報収集の場となった。

「指導と評価の計画、カリキュラム・マネジメント、保健体育の見方・考え方、知識を基盤とした学習の充実」等々も話され、頻りに耳にしている言葉についての理解が進んだ。特に、「体育学習の重点の変化」として小学校期から高校期までを「生涯にわたる運動実践の基礎⇒生涯にわたる運動実践⇒生涯にわたる豊かなスポーツライフの継続」の3期として各時期に重きを置く内容をわかりやすく示していただいた。改めて「適時性」を大切に授業づくりを行う大切さを確認する良い機会となった。

3 おわりに

今回の熊本火の国ラウンドには、小・中・大学・教育委員会の先生方、そして大学生に参加していただき、多くの学びを共有したことで、さらに体育を盛り上げていこうというエネルギーになったのではないかと感じています。(来年は高校の参加を期待したいですね!)また、その日の夕刻より行った情報交換会には、11名の方々に参加していただきました。校種や立場を超えて多くのつながりが生まれ、火の国らしく熱く熱く体育について語り合いました。最後になりましたが、大変お忙しい中、運営や準備等にご協力いただいた先生方を始め、参加してくださった全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【文責：熊本県事務局 緒方】

